

SBS2005
カップ
国際ユースサッカー

今年も8月18日からSBSカップ
国際ユースサッカーが開催される。
今大会はアルゼンチンとセネガルの代表を招き、
U-18日本代表、静岡ユースがこれに挑む。

■参加チーム

	U-18アルゼンチン代表
	U-18セネガル代表
	U-18日本代表
	静岡ユース

■大会日程

8/18	U-18日本代表 vs U-18セネガル代表 14:00KICKOFF 静岡ユース vs U-18アルゼンチン代表 16:20KICKOFF 会場／藤枝総合運動公園サッカー場
8/19	U-18日本代表 vs 静岡ユース 14:00KICKOFF U-18アルゼンチン代表 vs U-18セネガル代表 16:20KICKOFF 会場／日本平スタジアム
8/21	U-18日本代表 vs U-18アルゼンチン代表 15:00KICKOFF 静岡ユース vs U-18セネガル代表 17:20KICKOFF 会場／静岡スタジアムエコパ

- 主催／(財)日本サッカー協会、(財)静岡県サッカー協会、
静岡新聞社・静岡放送
- 後援／外務省、文部科学省、アルゼンチン共和国大使館、セネガル共和国大使館、
静岡県、静岡県教育委員会、(財)静岡県国際交流協会、
藤枝市、静岡市、袋井市、開催各市教育局、
開催各市国際交流協会、TBS、(社)静岡県サッカーを愛する会
- 協力・オフィシャルボール／フーマ
- お問い合わせ／静岡新聞社・静岡放送事業局内 大会事務局
TEL 054-284-8927

前売券 好評発売中

	前売券	当日券
一般	1,300円	1,500円
高校生	600円	800円
中学生	300円	500円
小学生	200円	300円

※前売券は1枚で3日間有効(料金は税込)
一般券は1枚につき小学生以下1名無料

●チケット取り扱い

チケットぴあ
ファミリーマート・セブンイレブン・サンクス(Pコード 679-334)
ローソン(Lコード 43945)
CNプレイガイド 予約電話番号 052-968-0099
(※チケットはサークルK店頭渡し)
静岡新聞社・静岡放送(本社事業局、東部総局、浜松総局)

SBSテレビ

2005 SBSカップ国際ユースサッカー
SBSカップから世界へ

これからのON-AIRスケジュール

7月15日(金)～8月17日(水) (全10回放送)

7/15(金)12:55～13:00 高原直泰選手(ハンブルガーSV)

7/19(火)24:59～25:04 内田篤人選手(清水東3年-U-18日本代表)

7/22(金)12:55～13:00 武田修宏氏 (元日本代表FW)

※放送時間は、変更になる場合もあります。



絶対に見返してやろうと
僕にとってSBSカップは、もうひとつ特別なモチベーションがある大会でもありました。日本ユースと静岡県高校選抜の両方に所属する選手がいて、僕もその一人でしたが、そういう中でユース代表で主力ではない選手がこの大会では県選抜について、終わったらまた代表に合流するというところがあったんです。僕は県選抜チームで出場しましたが、すごく反骨心がありましたね。ここでアピールして代表の主力になりたい

勝つのが当たり前
当時は気がつかなかったけれど、僕たちが試合をして勝ったアヤックス

SBSカップは、自分の力と世界との距離を図るのに、とても有意義な大会だと思うし、そこで活躍すること、自分自身がひと回りもふた回りも大きくなれる大会です。今年出場する選手も、どんな状況でも相手に勝って欲しい。勝つ気持ちでやって欲しい。余計なことはあまり考えないで、とにかく勝つためには何が必要なのか、何ができるのかというのを逆算して、思い切り自分の力を出して欲しい。とにかく勝利を目指すこと。それが、うまくない

★シリーズ広告のご案内

Jリーグや海外チーム、日本代表で活躍している静岡県出身の名選手、監督に、SBSカップや自身のサッカー観について語っていただくシリーズ広告です。

武田 修宏氏(元日本代表)

高原 直泰選手(ドイツ・HSV)

小野 伸二選手(オランダ・フェイエノールト)

山本 昌邦監督(磐田)

が登場の予定。お楽しみに。

企画・制作／SBSカップ国際ユースサッカー実行委員会

特集：2005 SBSカップ国際ユースサッカー

清水エスパルス
佐藤由紀彦選手
語る。

静岡の選手の「特典」

海外の超名門チームと試合をするという、当時は本当に貴重な経験ができるというだけではなく、それが静岡でできるというのがとても嬉しくて、非常にモチベーションの高い大会でした。今考えてみても、滅多に戦えない選手たちと、地元で戦える喜びというのは格別だったなと思います。アヤックスやユベントスの選手は、日本の選手とは間合いやリーチが違ったし、ボールの持ち方も独特で、そういううまくに触れてすごく勉強にもなりました。SBSカップは静岡県でサッカーをしている高校生にとつての「特典」のようなもの。静岡に生まれてよかったと思いますね。

僕がユース時代に一番意識していたことといえば、とにかく勝つ、何があっても勝つということ。高校のチームでもユースでも県選抜でも、それを意識させられていたし、意識していましたけど、それはすごく大事なことだと思っています。勝負事だから負けるときもあるけれど、一生懸命やっただけ負けたというならともかく、負けるべくして負けたという試合だけはしたくない。それは今も変わっていません。そういう自分のベイスは、SBSカップでの戦いも含めて、高校時代に培われたと思います。

でも、海外のチームに対して胸を借りるというような意識は全くなかった。勝つのが当たり前という気持ちでやっていました。同じユース世代ならそんなに差はないだろうと思っていて、ましてホームなのだから絶対に勝つてやろうと。生気というか、本当に強気な高校生だったと思うけど、でも特にその年代はそれでいいと思います。僕自身、そういう自分がいたから今があると感じています。

佐藤由紀彦選手プロフィール
1976年生まれ。静岡県富士市出身。強豪清水商業高校で早くから主力に定着しあらゆるタイトルを獲得。3年にはU-19代表としてアジアユースに出場。卓抜したセンスと技術を持つ攻撃的MFとして全国区の人気選手となる。95年に清水に入団したがなかなか出場機会を得られず、98年に自ら志願してJFL山形に移籍するとアシスト、ゴールに大活躍。翌年移ったJ2のFC東京でも正確なクロスを武器に右サイドに定着し昇格に貢献。ナビスコ杯ではゴールキーパーに輝いた。03年には横浜FMに移り完全優勝を果たす。今季から清水に戻り、様々なチームでの経験を生かし活躍をしている。

「SBSカップ出場歴」

93年高校2年・静岡県高校選抜チームでアヤックス・オランダ・ベルギー・キリン・ソウル特別市高校選抜(韓国)・日本ユースと対戦。2ゴール
94年(高校3年)静岡県高校選抜チームでユベントスイタリア・クリシウマ・ブラジル、日本ユースと対戦。1ゴール